

「主よ、ダビデの子よ！」  
聖書箇所：マタイの福音書20章29~34節

---

**【1】 エリコからエルサレムへ**

- ・エリコからエルサレム：約 30 キロ、徒歩で 7-8 時間の道のり
  - ・今回のエルサレム行き：十字架の死に向かう道のり
- 「私たちはエルサレムに上って行きます。人の子は祭司長たちや律法学者たちに引き渡されます…」(20:18)

**【2】 主よ、ダビデの子よ！**

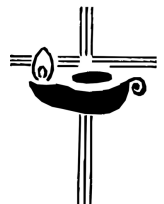
- ・イエスに「主よ、ダビデの子よ」と叫ぶ二人
  - ― イエスに敵対するパリサイ人や律法学者の耳に届くりスク
- ・「主よ、ダビデの子よ」
  - ― 「約束の救い主」を連想させる呼びかけ
- ・叫び続けた二人

**【3】 目が見えるようになること**

- ・立ち止まられたイエス
  - ― 「わたしに何をしてほしいのですか」(20:32)との問いかけ
- ・純粹に願う二人の返答
  - ― 「主よ、目を開けていただきたいのです」(20:33)
- ・深くあわれみ彼らの「目」(マ)に触れられたイエス
  - ― 「目」(マ)が登場するのは他にマルコ 8:23 のみ：「心の目<sup>1</sup>」
- ・目が見えるようになった二人が次に選んだ行動
  - ― エルサレムに向かう「イエスについて行った」(20:34)

祈り：

▷私の心の目を開いてください。イエス様、あなたがどのようなお方であるか教えてください。「主よ、ダビデの子よ。私たちをあわれんでください！（キリエ・エレイソン！）」



---

<sup>1</sup>“ὄμμα,” BDAG, 705.